



(専門職大学院システム安全専攻, 博士後期課程生物統合工学専攻設置記念式典)

本学に4月から新設された「専門職大学院システム安全工学専攻, 生物統合工学専攻」の設置記念式典をホテルニューオータニ長岡で行いました。同式典には, 結城文部科学事務次官をはじめ, 西永豊橋技大長, 高田長岡高専校長及び長岡市役所, 長岡商工会議所, 長岡労働基準監督署などの関係者, システム安全に関連する企業からの代表者, 4月に入学した学生, 本学関係教職員など120名が出席しました。



特集

学びの空間・憩いの時間
—キャンパスは進化する—

CONTENTS

- 2 NEWS／トピックス
- 3 実務訓練シンポジウム
- 4 特集—学びの空間・憩いの時間—
—キャンパスは進化する—
- 8 ながおかニューライフ
- 10 私の抱負
- 14 課外活動 他
- 15 就職コーナー
- 16 お知らせ／編集後記



2006年10月1日
開学30周年を迎えます。

NEWS

結城文部科学事務次官が来学, 「専門職大学院システム安全専攻,博士後期課程生物 統合工学専攻」設置記念式典を挙行了しました。

5月29日,結城文部科学事務次官が来学されました。結城次官は応接室にて小島学長,佐藤理事・事務局長,井上,宮田,西口,石崎副学長等の本学執行部と懇談,大学の概要,COEプログラムの説明を受けた後,極限エネルギー密度工学研究センター,技術開発センター等のCOE関連研究施設の学内視察を行いました。技術開発センターでは,齋藤センター長から,フラットパネルディスプレイ製造設備として注目を集める大型CVD装置の概略と,センターが遂行している技術開発戦略に関する説明を受け,熱心に聞き入っていました。

また,同日17時半より設置記念式典を挙行。小島学長は式辞で,近年の我が国の安全社会の崩壊の根には,安全工学に関する教育・研究の欠如があるとの立場から,各界からの多数の要望も受け,我が国初で唯一の専門職大学院「システム安全専攻」



式典の様子



大学の概要説明を受ける
結城文部科学事務次官(中央)



祝賀会で挨拶をする服部前学長



学内視察の様子(技術開発センター)

を設置したこと,また,バイオテクノロジーの急速な成長を受け,生命科学と化学・情報・環境科学を統合した新分野の展開を実現させることが急務との立場から,これらを統合した技術開発のできる人材育成を目的として「生物統合工学専攻」を設置したと述べました。

記念式典終了後には,祝賀会が行われ,会場は終始和やかな雰囲気包まれていました。

Topics トピックス

学生表彰

平成18年3月24日,卒業・修了式において「学生表彰」が行われました。これは,学業・研究活動において,特に顕著な成績を挙げたと認められる学生などを表彰するため,一昨年度創設した制度です。第二回目となる今回は,学部・大学院で合計42名の学生が表彰され,小島学長より,賞状が手渡されました。

平成18年3月学生表彰者一覧

学部各課程で優秀な成績を修めた者

課 程	氏 名	性別	出身高专等
機械創造工学課程	高瀬 佑樹	男	久留米工業高专
〃	星川 裕聡	男	鶴岡工業高专
電気電子情報工学課程	緑川 正敏	男	福島県立平工業高校
〃	HADI SHAIKH ZAKER (ハディ シェイク ザケル)	男	熊本電波工業高专 (国籍:バングラディッシュ)
材料開発工学課程	小柴 佳子	女	福島工業高专
建設工学課程	渡邊 真史	男	木更津工業高专
環境システム工学課程	伊丹 和也	男	新潟県立長岡高校
生物機能工学課程	北島 雅弘	男	長岡工業高专
経営情報システム工学課程	長谷川雄亮	男	長岡工業高专

修士各専攻で優秀な成績を修めた者

専 攻	氏 名	性別	出身高专等
機械創造工学専攻	丸山 英人	男	鹿児島工業高专
〃	松浦 文生	男	高松工業高专
電気電子情報工学専攻	高田 陽介	男	富山商船高专
〃	栗本 大詩	男	熊本電波工業高专
材料開発工学専攻	溝口 隼	男	都城工業高专
建設工学専攻	正木 守	男	福島県立福島工業高校
環境システム工学専攻	井口 晃徳	男	長岡工業高专
生物機能工学専攻	松永 哲雄	男	東京理工専門学校
経営情報システム工学専攻	高橋 正幸	男	新潟県立長岡向陵高校

博士後期課程で優秀な成績を修めた者

専 攻	氏 名	性別	出身高专等
材料工学専攻5年	田中 紀彦	男	仙台電波工業高专
〃	原島 正幸	男	埼玉県立秩父農工高校
エネルギー・環境工学専攻5年	田辺 里枝	女	富山商船高专

本学修了生で活躍した者

在学時所属	氏 名	性別	出身高专等
情報・制御工学専攻 (2004年3月修了)	Pongoun RERKKUMSUP (ラークンガブ ホンポン)	男	タイ・バトムワン工科大学教員

この他,課外活動・社会活動において,特に顕著な功績があったとして,ロボコンで活躍した「援・越乃樞チーム」の10名,中越地震のボランティアで活躍した「スノーパトロール隊」の10名が表彰されました。

高等専門学校の専攻科修了見込み者対象(大学院修士課程推薦選抜)特待生制度 平成19年度スタート

■特待生制度とは…

高等専門学校の本科在学中の当該学科における席次が最終2学年を通じ上位15%以内の者であり,専攻科在学中の成績が極めて優秀であると出身学校長が認めた者については,合格時点で入学料の免除及び入学時点から2年以内の授業料の年額を免除します。

- 入学料 282,000円(全額免除)
 - 授業料 535,800円(半額免除)
- ※平成19年度入学者に係る金額は未定です。

平成18年度（第27回） 実務訓練シンポジウム —平成18年5月31日—

実務訓練委員会委員長 白 樫 正 高
(機械系 教授)

実務訓練は、実践的指導的技術者の養成を学部一貫教育の体制の中で実現するための本学独自の制度として建学当初から実施されています。27回目を迎えた昨年度は、241機関に321名の学生を派遣しましたので、1機関あたり約1.4人となります。当初、少数の大手企業に多数の学生をお願いした状況から思えば、実務訓練が社会的に評価され、制度もほぼ完成の段階に達したと思われます。しかし、体制が整うと、ともすれば形式化に陥りがちとなることから、今年度の実務訓練シンポジウムは「実務訓練で何を学ぶか」をテーマとして、これから実務訓練を受ける学生、受け入れ機関の指導者、そして教育の責任主体である大学、のそれぞれの立場から、疑問や提言を述べ、意見を交換することにより、実務訓練の意義、あるべき姿を再認識する機会としました。特に、DNPテクノポリマーの川尻社長の基調講演を初め、パネリストとしてお迎えした、技術開発および技術者指導に対する経験豊かな方々からのご発言は、これから実務訓練に向かう学生にとって有意義なものであったと思います。

教員の側から見た場合、学生諸君への要望には多くの共通するものがあり、教育におけるそれらの重要性が改めて認識されました。また、実務訓練以前に身につけているべき事と実務訓練で学ぶ事に関して、三者の立場からの意見の相違が見られ、大学におけるカリキュラムを再検討する参考となるものでした。

最後に、厳しい要求が多くて負担に感じている学生諸君に一言。実務訓練では、いるべき場所にいるべき時間に元気で機嫌良くい下さい。

そして、事故に気をつけ、積極的に努力と工夫をして充実した実務体験をしてください。それだけで十分に合格です。



パネルディスカッションの様子

実務訓練とは・・・

社会との密接な接触を通じて、指導的技術者として必要な人間性の陶冶と、実践的技術感覚を体得させることを目的として、学部第4学年後半に約5か月間、企業、官庁、公団等において実務訓練(インターンシップ)を履修させる本学の教育プログラムです。

本学は、開学当初(昭和54年)よりこのプログラムを長年に渡り実践してきたことが評価され、(社)日本工学教育協会で最高賞の「文部科学大臣賞」(平成15年度)を受賞するとともに、実務訓練は文部科学省が認定する「特色ある教育支援プログラム(特色G P)」(平成15年度)に選定され、本学の全国に誇れる特色の一つとなっています。

平成17年度 実務訓練実施状況

1. 実務訓練実施期間

機 械 系	機 械 創 造 工 学 課 程	平成17年10月 3日(月)～ 平成18年 2月24日(金)
環境・建設系	建 設 工 学 課 程 環境システム工学課程	
電 気 系	電 気 電 子 情 報 工 学 課 程	平成17年10月 3日(月)～ 平成18年 2月17日(金)
経営情報系	経営情報システム工学課程	
化 学 系	材 料 開 発 工 学 課 程	平成17年10月 3日(月)～ 平成18年 1月31日(火)
生 物 系	生 物 機 能 工 学 課 程	

2. 実務訓練機関と派遣学生数

受入機関業種(機関数)	機械系	電気系	化学系	環境・建設系	生物系	経営情報系	合 計
官公庁・公団等	21	0	0	12	13	1	26
建設業	14	0	0	14	1	1	16
食料品	5	0	0	1	0	5	7
繊維工業	1	0	0	1	1	0	2
化学工業	20	1	4	12	3	3	23
医薬品	2	0	0	0	0	2	2
鉄鋼業	3	2	1	0	0	0	3
非鉄金属	10	7	1	4	0	0	12
金属製品	2	0	0	0	2	0	2
一般機械器具	26	20	7	2	0	1	32
電気機械器具	41	11	36	9	3	1	65
輸送用機械器具	12	6	5	2	1	0	14
精密機械器具	8	3	3	1	0	1	10
その他の製造業	15	3	1	5	3	2	16
(製造業小計)	(145)	(53)	(58)	(37)	(13)	(15)	(188)
運輸通信業	4	0	14	1	1	0	17
電力・ガス・水道	1	0	1	0	0	0	1
サービス業	28	1	3	0	22	1	31
海外の企業等	28	16	10	3	6	3	42
合 計	241	70	86	41	68	23	321

海外への実務訓練生内訳(順不同)

マレーシア	マラ教育財団	4名	機械1,電気2,経営1
	日立エアコン・マレーシア	2名	機械1,経営1
	デンセイラムダ	2名	電気2
	マラ技術大学	2名	建設1,環境1
	Toshiba Semiconductor	2名	機械1,経営1
タイ	Shin Dengen Co.,Ltd.	1名	電気1
	Chulalongkorn University	1名	生物1
	Thai Tabuchi Electric Co.,Ltd.	2名	機械1,電気1
	Hoya Glass Disk Thailand Ltd.	2名	電気2
	National Metal and Materials Technology Center (MTEC)	2名	環境1,材開1
ベトナム	日本電産コパル	1名	機械1
	ハノイ工科大学	3名	機械1,材開1,経営1
	HALベトナム	1名	機械1
	キャンボンベトナム	1名	機械1
	鄭州大学	1名	材開1
中国	国立成功大学	1名	環境1
	シンガポール総合病院	1名	生物1
	WASEDA-OLYMPUS BIOSCIENCE RESEARCH INSTITUTE	1名	生物1
	インド国立インテリゲンチ-原子力研究所	1名	機械1
	オーストラリア原子力科学技術機構	1名	機械1
オーストラリア	シドニー工科大学	1名	環境1
	Kaya AMA	1名	機械1
	Daejoo Electronic Materials Co.,Ltd.	1名	機械1
	ボルボ・エアロ社	1名	機械1
	カタリニア工科大学	2名	機械1,建設1
スウェーデン	クラサオ島石油精製所	2名	機械2
	Pioneer Electronics USA	1名	電気1
	Instec Research Instrumentation Technology	1名	電気1
	オランダ領		
	アメリカ		
計		42名	

特集—学びの空間・憩いの時間—キャンパスは進化する—

「総合研究棟 3F 学生自習用パソコン室について」

経営情報システム工学課程 2年 田 口 亮 輔
(新潟南高校出身)

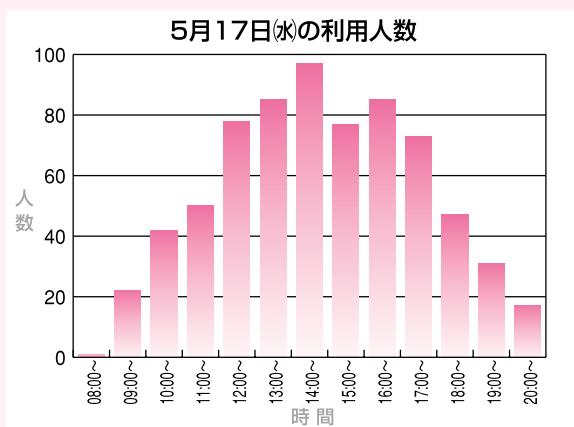


学生自習用パソコン室には70台のパソコンがあり、誰でも自由に使えます。はじめはパスワードの設定などが面倒に感じられるかもしれませんが、それさえ終われば難しいことはなく、気軽に使えるはずです。主な用途としてはインターネットによる情報収集、レポートの作成、メールによる先生との連絡などです。インターネットを利用できない学生寮に住む私にとってはありがたく、かなり

お世話になりました。居心地もいいので、みなさんもぜひ遠慮せずに利用してください。ただし、利用し終わったら電源を切るなどの最低限のマナーは守るようにしてください。いつ、誰が、どの端末を使ったかなどはすべて把握されていて、場合によっては使用禁止などのペナルティーが課せられることもあります。



自主学習の様子(個室もあります)



学生証で入室

「学生たちの応援」

経営情報システム工学課程2年
バトナサン バチュルーン
(モンゴル出身)



長岡技術科学大学に入学してからあっという間に一年が過ぎてしまいました。入学したばかりの頃は、慣れない一人暮らしや日本語ばかりの授業が大変だと感じたこともありましたが、学校や先生方の支援や友人たちの助けで毎日楽しくて、充実した学生生活を送れるようになりました。

学校では学生たちを応援するいろんなサービスや設備環境が整っています。学生のいろんな悩みや勉強のことや将来のことなどで相談にのっていただく「クラス担当教員」や「アドバイザー教員」のほかに「学習サポーター」や留学生向けの「チュータ」という制度もあります。「チュータ」というのは日本に来たばかりの留学生に大学院生がサポートについてくれる制度です。私も勉強や

私生活で困ったことがあった時には、チュータの方にいろいろ助けていただきました。

また、授業の合間、お昼休みに友人たちとおしゃべりしながら、楽しくてゆっくりと過ごせるスペースや、ともに勉強できる図書館、学習パソコン室など様々なサービス設備があります。これらは学生どうしの交流や友達づくりにもつながっていると思います。

美しくて静かな自然に囲まれた大学のキャンパスのなかで、親切な人々と出会い、そしてともに学びながら、夢を追うのが日々楽しくなります。



チュータのキマラ ヴィラニーさん(ラオス出身)と

学生自習用パソコン室紹介（総合研究棟3F）

学生自習用パソコン室とは・・・

- ・ 学生が自学自習やレポート作成に自由に使用可能な部屋
- ・ 学生が個人的に所有しているノートパソコンの持ち込みにも対応
- ・ 学内のみならず、学外のWebへのアクセスも可能

【開 室 時 間】 平日：9時～20時30分
土日：12時～18時

【設置パソコン等】 ・デスクトップ型 40台
・持ち込みノートパソコン対応設備40台分、プリンタは各設置パソコンから印刷可能



管理端末で利用状況を確認



空いているパソコンにタッチして席に着きます



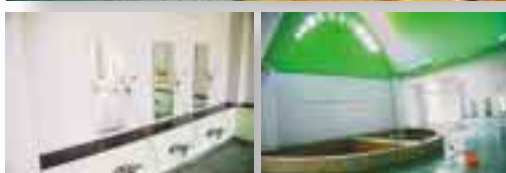
照明人感センサー

廊下等に人感センサーを設置し真夜中でも安心して構内を移動できます。



グローバルカフェがオープン!

多文化交流を主目的とした学生主体のオープンカフェ「グローバルカフェ」がオープンしました。毎週月曜日のお昼に中庭で行われていますので、是非参加してみてください。



学生宿舎浴室

給湯設備改修、浴室、脱衣室内装の改修をしました。



学生集会室

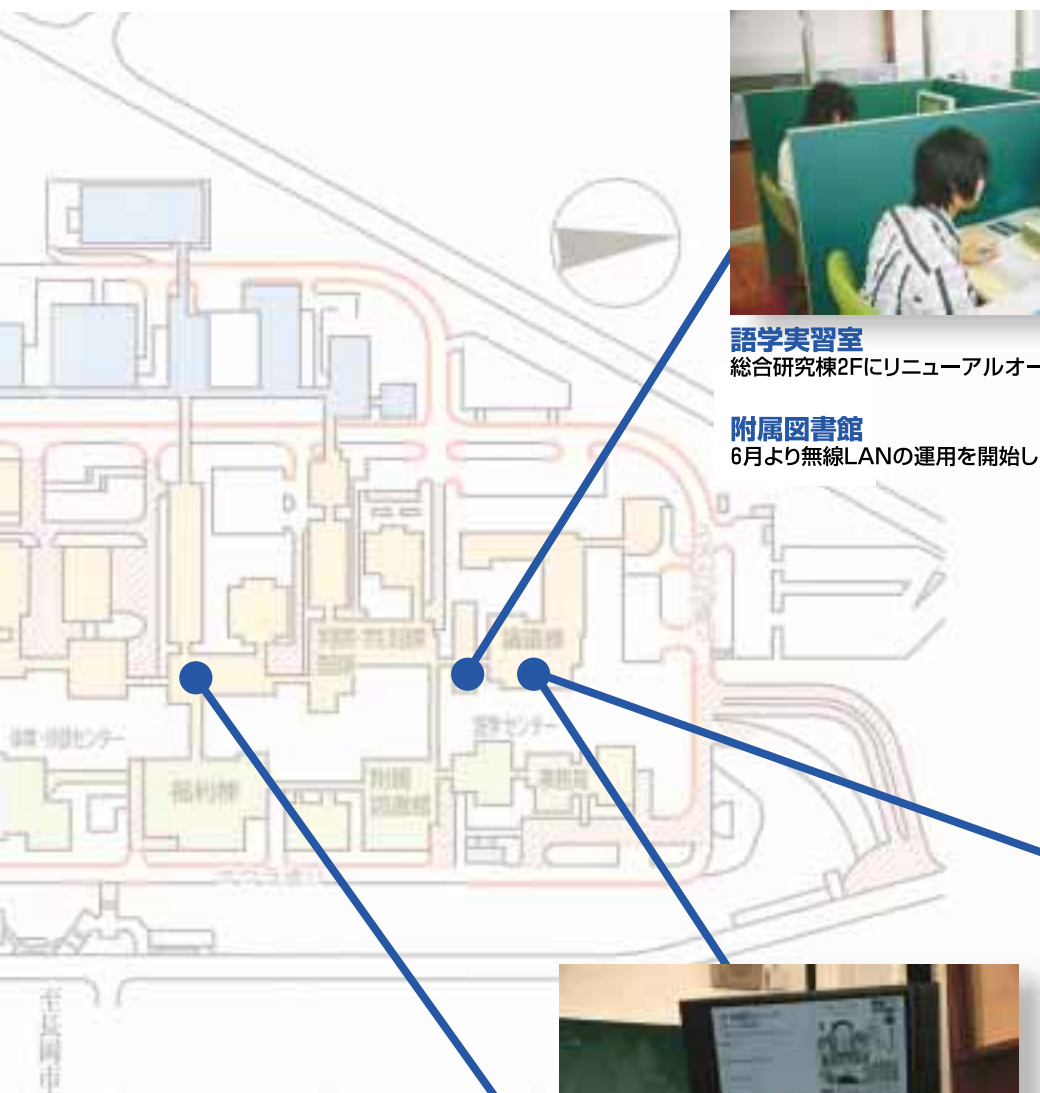
24時間コーナー、集会室の内装を明るくしました。



防犯カメラの設置

12カ所に防犯カメラを設置し、防犯対策を行っています。





語学実習室

総合研究棟2Fにリニューアルオープンしました。

附属図書館

6月より無線LANの運用を開始しました。



講義棟ホール照明及び塗装改修

暗いホールを改善し、休み時間等の憩いの場となっています。



講義棟他のトイレ

清潔で快適なウォシュレットに順次改修しています。



プラズマディスプレイ設置(101,205室)

B講義室のAV設備も更新しました。



冷暖房用エアコン設置(301-306室)

氷蓄熱式省エネタイプ

※講義室全室に空調が完備しました。



施設管理課から

施設管理課では学生の皆さんが安心して快適な学生生活を送ることができるよう、計画的に設備の改修等を行っています。建物・設備等に不具合などが生じた場合は、お気軽に施設管理課までご相談ください。
(施設管理課施設企画係 内線9233)

長岡での生活

電気電子情報工学課程1年 河野 忠身
(宮崎県立佐土原高等学校出身)

私がこの長岡へ来て早くも1ヶ月がすぎました。ここにきての第一印象はとても寒いということです。私は九州の宮崎から来ました。宮崎はとても暖かいので最初この寒さにとても驚きました。一人暮らしということで自炊や毎日の生活習慣などがちゃんとできるかととても不安でしたが今ではしっかりやっていけるようになりました。友達と一緒に夕食の買い物に行ったり家具などを見たり遊んだり、毎日を楽しんでいます。

学校生活においては高校時代から続けていた硬式テニス部に入部し、おもしろい先輩にも恵まれ充実した生活をおくっています。授業等も普通科から入学した学生とは学力に差があるので不安でいっぱいでしたが、しっかり講義を聞き、しっかり授業についていっていると思います。これからもレポート等の期限はしっかり守り、普通科に負けないように学習面でも努力していきたいです。

まだまだ始まったばかりの大学生活です。今までの親がいた高校生活とは違います。何が良いのか、悪いのかを自分でしっかり判断し、責任を持って行動できるように日常生活でも努力していきたいです。また、勉強面でも自分の夢にむかって必死に勉強していきたいと思います。卒業してからも「技大で勉強してきてよかった」と思えるような充実した大学生活をおくっていきたいと思います。



友人と(筆者中央)

大志を抱いて

材料開発工学課程3年 鈴木 太志
(鶴岡高専出身)



クラスメイトたちと(筆者左から2番目)

現在、韓国と日本は竹島問題によって対立が激化し、ドイツではワールドカップが始まり、一志と太志は長岡に進出し、地球では温暖化が進む一方です。

そんな中、この長岡という土地は非常に寒いところでした。雨の日が多く、クラスでの花見を企画しても延期になり、結局花が散るころに花見ができた、という具合です。

私は鶴岡高専を卒業し、長岡に来了。高専のころの毎日を懐かしく思いながらも、新しい大学生活を元気に楽しく過ごしています。毎日まじめに講義を受け、晴れた日は野球の練習、休みの日は友達と鍋を囲んでお酒を飲んで、と忙しい日々です。月に一度の酒学部での飲み会も楽しみの一つです。さらにボランティア活動にも参加していて、地域の人との触れ合いも私にとって素晴らしい経験となっています。

はじめはこの大学生活がすごく大変で、入学前の様々な期待も不安に打ち消されてしまいました。しかし、一緒に鶴岡から来た友達や新しく増えた友達に支えられて今日を楽しく暮らすことができています。長岡に来て友達の大切さというものを改めて知ったので、これからはもっと友達をたくさん増やして幸せな日々を送れるような大学生活にしていこうと思っています。

NEW LIFE

新生活

機械創造工学専攻1年
萱 村 耕 治
(サレジオ高専出身)



私は東京で家族との生活しか知らなかったもので、一人で生活しなければならないことに大きな不安を抱いていました。しかし、長岡に来て初めて会話を交わした大家さんはとても優しい人で、ここでも苦勞しながらも生活していけると感じました。

長岡に来てびっくりした事は4月に雪が残っていて桜も咲いておらず、考えていた以上に寒かったことです。出発する前の東京では桜の花も散り春の訪れと共に新生活をスタートするのだと思っていましたが、実際のところ長岡は限りなく冬に近い印象を受けました。

私は所属している研究室の事しか分かりませんが、高専専攻科から入学しても打ち解けやすい環境だと思います。研究室の皆さんはとても優しく、まだ会ってから1ヶ月しか経っていないのが不思議に感じるくらいです。大学の設備や講義の場所など知らないことが多く心配でしたが、研究室の人とすぐに打ち解けたので、分からないこと、行きたくても場所が分からないところ、履修申告の仕方など大学生活で必要なことを教えてもらえました。

研究するのに最適な環境の長岡技大で、限られた期間ですが楽しんで研究できるように頑張りたいと思っています。



研究室のメンバーと(筆者は前列、左から2番目)

長岡での新生活

生物統合工学専攻3年
ソー ニ ニ
(ミャンマー出身)



研究室での花見(筆者は後列左から3番目)

美しい国日本。私はこの地に再び降り立つことができました。空港から長岡までの車中、車窓からの風景を眺めながら私はホームシックを感じていたように思います。あいにくの曇り空もホームシックを助長していたのではないのでしょうか。

長岡に着き、長岡はとてもきれいな町だなと感じました。私のチューターに長岡技術科学大学まで送ってもらい、キャンパスを目の前にしてこれから3年間、この大学で過ごすと思うと少し不安になりましたが、大学で出会う人々は皆笑顔で接してくれて、国際課、学務課の方々は私を温かく迎えてくれたので、不安になる必要はありませんでした。以前日本に来たときと同じく、日本の人々は皆親切であると感じました。さらに私の研究室の仲間にもとてもよくしてもらい、長岡はまるで私のスイートホームのようでした。

私は生物統合工学専攻において、脳で直接ロボットを制御するBCI (Brain Computer Interface) の研究を行い、博士号を取得すること目標としています。長岡には穏やかな、勉学に励むにはとてもよい環境が整っているので、目標を達成できると確信しています。

最後に、本学で色々とお世話になる方々に対して、いつか恩返しができる日が来ればよいと思っています。



「多様な分野へ」

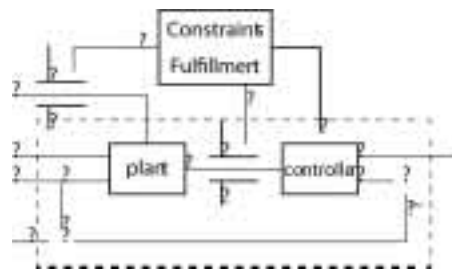
平田 研二
(機械系 助教授)

4月より、本学で仕事をさせていただくことになりました。自己紹介を兼ねて、専門分野である制御工学と研究テーマなどを紹介させていただきます。

制御工学は、残念ながら、それ自身で物を作り出すということが、基本的にはありません。制御対象と呼ばれる対象を、より良く働かせるための理論や達成可能な最高の性能を明らかにすることなどが、議論されます。実際に制御をおこなう、実験的な検証も、もちろん大切な研究テーマです。

制御工学は、良い意味でも悪い意味でも、対象を限定しません。実際わたしたちの身の回りは、制御で溢れかえっています。自動車でも家電製品でもコンピュータでも、その中では制御工学にもとづく技術が大活躍しています。製品として、目に見える形では現れてくれないのが、残念です。

制御工学には、対象を限定しないという特徴があ



複雑な対象からより良い性能を引き出そうとすると、標準的な制御工学の枠組では太刀打ちできません。問題を解決するための理論を構築し、実験的な検証を実施しています。一筋縄ではいかないのが、難点です。

りますから、純粹に制御のことだけを考えた、制御理論が体系化されています。制御理論は、短く見積もっても200年の歴史を持っており、今も発展しています。数学や物理の世界ではあたり前ですが、工学の理論的一分野が、これだけの歴史を持っているのは、珍しいと思います。制御理論をツールとして、わたし自身もこれまでに、ロボット、電力システム、測量の分野、防災システム、計算機ネットワークなどを対象として、研究をおこなうことができました。制御工学を軸に、多くの方々との交流を深め、これまで以上に、多様な分野を舞台に研究を発展させていきたいと願っています。どうぞよろしくお願いします。



「ネットワークでつないだら面白い・新しいことができる」

山崎 克之
(電気系 教授)

4月に赴任した山崎、川口町・長岡高専出身、です。3月までKDDI研究所でインターネットアーキテクチャ、ネットワークセキュリティ、携帯 (au) 応用、センサーネットワーク、などの研究と、IPバージョン6やユビキタスコンピューティングなどの産学官プロジェクトを遂行していました。最後の仕事は臨時設置の研究戦略室長として、将来の情報ネットワークと基盤研究強化に向けた研究テーマの選択と集中、研究プロジェクト再編、などを担当しました。

ネットワーク技術はEnabling Technologyと言われます。ネットワークそのものというよりも、ネットワークが実現する情報の交換・システムが世の中に役立ちます。情報ネットワークの研究は「ネットワークでつないだら面白い・新しいことができる」という様々な分野との連携が重要です。いろいろなものをつなぐ新しいネットワークを研究できればと



考えていますのでよろしくお願いいたします。

なお、ライフワークみたいなボランティア活動として「子どものためのインターネット教室」を小学校高学年・中学生を対象に10数年にわたって実施しています。こちらもよろしくお願いします。



「理論と実践を大切に」

杉 本 旭
(システム安全系 教授)

世界に冠たる日本の技術力ですが、競争力となるとランクがぐっと下がるのはなぜでしょう。問題は、わが国の安全の技術力不足です。どんなにすばらしい技術も、国際的に通用する安全を確保しないと輸出できない。研究者ならその現実を知らないでは済まされません。私は、VOSが安全の条件を達成して国際競争力を得たとき、VOSSと呼ぼうと提案したいと思っています。もちろん、VOS+Safetyの意味で、VOSSは競争力のある真の技術力の象徴だということです。

ところで、2025年に8兆円の産業が見込まれるサービスロボットですが、これまで安全の技術開発を怠ってきたわが国にとって、ロボットの安全は深刻な課題です。昨年の愛知万博で私は国からの委託を受け、展示ロボットの開発技術者に、安全なロボットの作り方を経験してもらいました。安全には、正しい理



解が必要です。「安全」とは、事故を防ぐ目的はもちろんですが、むしろ、安全に限界があるとき、それがその時代の技術的限界だという説明責任（認証）を技術者に課して、その技術を社会が受け入れるという制度なのです。重要な技術こそ、安全を極める必要があるのです。私は、長岡技大の専門職大学院（システム安全系）で、このサービスロボットのVOSSをぜひ実現したいと思っています。

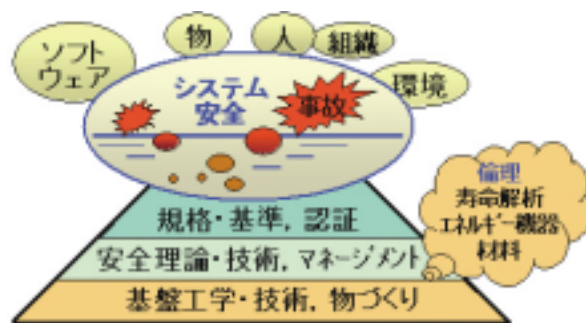


「体系化の更なる充実に向け！」

永 田 晃 則
(システム安全系 実務家教授)

私は本年4月より長岡技大 大学院技術経営研究科システム安全系の実務家教授に就任しました。これまでの民間企業における経験を活かして、本大学にわが国で初めて設置されましたシステム安全系の新しい学問体系の更なる充実と教育に従事できることを非常に嬉しく思うと同時に実務家としての重責を感じております。

私は35年余りに亘り某総合電機メーカーの電力エネルギーと社会システム機器に関する材料と構造技術開発に、「材料を制するものは事業を制する」という気概を持って携わってきました。大型技術システムの事故や大きなトラブルが報道されるたびに技術者の端くれとして誠に残念に思い、その原因がシステムの複雑化や人間の予測能力を超えている、等と言われるたびに現代的な安全管理とリスクベース理論に基づく新しい安全教育体系を切望しておりました。



システム安全の体系化イメージと私の主な経験領域です。

最近では教育システムといえどもより早く産業界に広く役立つことが期待されています。先ずは、非専門家にも容易に理解されるシステム安全学の定量的な体系化の整備・充実に、材料・構造システム技術の実務経験を活かして、取り組んで行きたいと思えます。

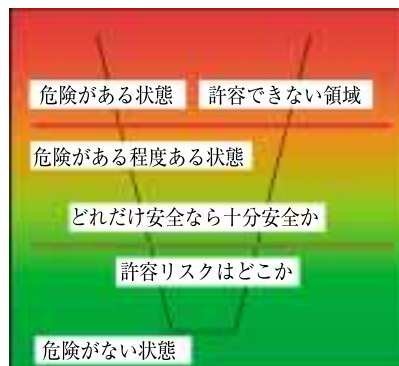


「システム安全の専門家」

山本 正 宣
(システム安全系 実務家教授)

システムの安全を考えると、まずそのシステムがいかなる状況にあっても、危なくないことです。危ないとは、危険があるあるいは迫っている状態をいいます。システムに危険がある状態は人間が作り出しています。故障によりシステムが危険な状態になって、お客様から机をたたかれながらお叱りを何回も受けました。「お前が死に直面するような危険状態に陥ったらなんと思う。他人事ではない、しっかり設計せよ。とにかくすぐに直せ。」システム故障が危険状態にならないことが実証できるまで現地に張り付いて、何日も徹夜をして直した経験があります。直し終えた後、これでやっと安心してお使いいただくと安堵したものです。この安堵感は何物にも変えがたいと当時は深く感激したものです。

システム安全系はシステムの安全を構築できる能力を持った専門家を育成することにあると考えます。



絶対危険な目に合うことは
ありませんと言えますか

技術の専門家としての技術士は、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価またはこれらに関する指導の業務が行うものを言います。技術士（総合技術監理、電気電子）として事故の鑑定を行った経験をも踏まえて、システム安全をどうやって構築していくかを、確実にお伝えできたらと考えています。



「システム安全系の一員としての抱負」

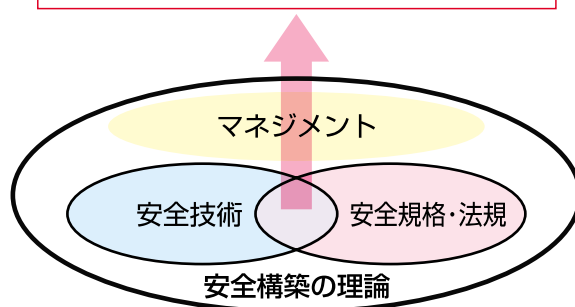
福 田 隆 文
(システム安全系 助教授)

4月より、新設のシステム安全系の一員になりました。前任の横浜国立大学では機械設備を中心とする安全工学、特に、プラント内の設備の異常検知能力の向上と評価や安全装置の作動信頼性（平たくいえば、いざというときに本当に働くか）を中心に扱ってきました。安全技術の一分野です。

新専攻では、多くの教員により、規格や法規、マネジメントまで含んで総合的に扱います。ですから、工学研究科ではない、新研究科にもなったと聞いています。私がいままで行ってきた研究の目的、つまり産業災害を減らすことは、システム安全の目的と共通ですし、私のいままでの研究における考え方も有効です。私なりの貢献をしてゆきたいと考えています。

安全工学自体もそうですが、工学の知識を基盤に規格・法規等の体系的な知識と実践能力、安全技術

安全な設備・労働場・システムの実現



の総合的適用というマネジメントまでを含めたシステム安全は、まだまだ未完成な部分の大きい分野です。それだけに、その構築に携われることに大きな喜びを感じます。教育と研究という仕事を通じてわが国の安全の向上に寄与できるように、従来から行ってきたことを基礎に、安全構築の方法の確立とその実践のための教育に努力したいと考えています。



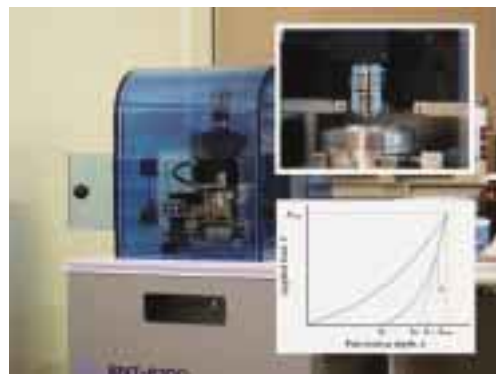
「マイクロからナノへ」

西村 太志
(技術開発センター 助教授)

私は本年4月より本学技術開発センターに赴任してきました。技術開発センタープロジェクトに参加するという形での、高専機構との2年間の人事交流です。

前任の徳山工業高等専門学校では疲労に関する研究に20年近く携わり、金属材料の疲労強度を解明するため、光学顕微鏡や電子顕微鏡を使用してマイクロメートルオーダーのき裂の連続観察を行ってきました。

本学では材料表面をナノメートルオーダーで押し込み、硬さや弾性定数などを求めるナノインデンテーションに関する研究を行っています。私がお世話になっている研究室では早い時期からこの研究を行っており、比較的膜厚の大きい硬質材料に関しては試験法を確立されています。そこで私は、これまで強度評価が困難であった薄膜の軟質材料に対するナノインデンテー



ナノインデータと得られるP-h曲線

ションの新たな応用・展開を模索しているところです。

ただ、扱うスケールがマイクロからナノになると、これまでの常識が通用しないことも多々あり、毎日が勉強の日々です。しかし、2年間の間にナノインデンテーション試験の新たな展開を創生することを目的に頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



「自分と周囲の発展を」

岡田 学
(工作センター 助教授)

平成4年3月に修士課程を修了して以来、14年ぶりに長岡技術科学大学の一員になりました。着任前までは高専の教員でしたが、本学と高専との人事交流で2年間の期限付きでこの大学の教員になりました。

この3月まで高専で5年生の担任としてクラスの学生の進路指導をしていました。この経験を何か本学の発展につなげることができればと思っています。例えば、私が昨年度担任をしていたクラスには進学希望者23人に対して200以上の学部等から募集要項が来ました。それぞれの偏入学に関する書類の様式が異なる上に、書式が電子化されてパソコンで編集できるようなものは皆無であり、大勢の学生の書類を切り貼りや手書きで作成しました。

また、自分自身は、新しい環境に移ったこの機会に新しいことに挑戦し、新しいつながりを作り、研究やその他の面での自身の成長につなげたいと考え



「第25回 本田宗一郎杯 ホンダエコノパワー燃費競技全国大会」の参加メンバーと出場車両。「ツインリンクもてぎ」ピットロードにて。

ています。

最後に、工学系の学生ならではの技術的なサークル活動などについても手助けしたいと考えています。自分自身は本学の学生時代に友人達と「鳥人間コンテスト」に挑戦しましたが（全て予選落ち）、高専の教員になってからはエコラン等に挑戦する学生達をバックアップしてきました。本学でもそのような学生がいれば喜んでお手伝いしたいと思います。

課外活動

春季球技大会(5/20)

クラブ連絡会会長・生物機能工学課程3年
和田 拓也(日本文理高校出身)

平成18年度春季球技大会が5月20日に開かれ、ソフトボール、フットサルの2種目が催されました。

ソフトボールには15チーム、フットサルには12チームの申し込みがありましたが、残念ながら雨天のためソフトボールは中止となりました。フットサルには、中止となったソフトボールのチームも加わり、18チームが体育館で熱戦を繰り広げました。

今回の球技大会には多くの学生が参加し、充実した大会となりました。



球技大会「フットサル」

野球部

全国大会に出場します!!

野球部キャプテン・環境システム工学課程4年
西 海 祥 次
(埼玉県立秩父農工高校出身)

予選を2勝1敗で本戦に勝ち進み、準決勝まで進むことができました。残念ながら負けてしまいましたが、北信越地区21の大学の中で3位になり、全国で戦えることを誇りに思い堂々とプレイしてきましたと思います。思いっきり楽しんでいます。応援よろしくお願いします。



練習風景

VOSが「ながおか・考房」で展示

VOSの「にいがたみてある記」が『まちなか・考房』で展示されています!

“まちなか”に行かれた際には立ち寄ってみてください。

「まちなか・考房」
長岡市大手通2-1-2
TEL.0258-36-3240



30周年ご寄附のお願い

開学30周年記念事業資金募金

～個人、団体・グループでも～

長岡技術科学大学では、開学30周年記念事業資金募集のご協力を関係各位にお願いしております。個人の方だけではなく、団体やグループにもお願いしております。集まった募金を基に長岡技大を益々発展・充実させていきたいと思っております。何とぞご協力の程、よろしくお願いいたします。

長岡高専同窓会から、新潟県中越地震の際に専攻科生及び本科5年生が本学での授業等の実施で大変お世話になったということで、50万円の寄附がありました。

募金に関するお問い合わせ

TEL.0258-47-9203 総務課総務係まで

就職活動を振り返って

入社して1ヶ月、私は赴任先で研修に励んでいます。就職活動を振り返ってそのときの気持ちを思い出すと、研修にも力が入ります。私の就職活動の体験が皆さんの参考になれば幸いです。

就職活動では、試験の事前に十分準備することを心掛けました。具体的には、SPI対策、過去の試験報告書を参考にした面接対策、会社やその業界を把握すること、研究内容の説明用の資料作りなどです。特に、研究内容の説明ではパワーポイントをプリントアウトした資料を使うことで、試験員に興味深く聞いていただけて話を進めやすくなりました。私の受けた面接では、手荷物の持込みは認められていなかったの、ポケットに資料を入れておき必要ときに活用しました。当然、面接では面接対策していたこと以外も聞かれることもあります。動揺せず間を置いて素直に答えれば良いと思います。

勤務先：日清紡績株式会社

佐藤 直之

(平成18年3月 機械創造工学専攻修了)

就職活動中に聞いた言葉ですが、仕事に行き詰まったときは、初心の気持ちを思い出すと頑張ることができるそうです。私も就職活動で準備した努力を思うとそんな気がします。新入社員も初心ですが、就職活動中は初心の初心ですね。就職活動している皆さん、今の気持ちを大切に頑張ってください。



本社研修中に同期と(筆者は左)

私の就職活動について

僕が就職活動中に常に感じていたことは、雪が積もっているのに30分足らずの面接のために何度も東京まで出かけるなんて面倒くさいということと、東京は暖かいからコートはいらないと思い、着ないでいくと結構寒かったという2点です。

しかし、社会に出てみると、就職活動がよいトレーニングになっていて、自分自身大変成長したと感じております。自分のセールスポイントや、趣味、性格などは、自分のことなのに実は全く分かってなく、このことについて確認できたことは大きな財産になっています。

僕の場合は、学校推薦を利用せずに就職活動をしていたため同時期に幾つかの企業を並行して受けていました。そのため短期間の間に自信を失ったり、自信満々になったりと心境の変化がめまぐるしく起こりました。僕は選考に落ちるとへこんでしまいテンションが

勤務先：株式会社NTTロジスコ

田村 大輔

(平成18年3月 環境システム工学専攻修了)

上がらなくなるタイプということはわかっていたので、受ける企業選びには人気のある企業を避ける等非常に気を使いました。このような選び方でよかったのか悪かったのかはわかりませんが、非常に僕にあった企業を選べたと感じております。皆さんも焦りや不安等あると思いますが、自分らしさを活かした就職活動をがんばってください。



卒業旅行にて

お知らせ

2006 オープンキャンパス開催

今年も、本学や工学分野に興味のある方々を対象に、オープンキャンパスを行います。

この機会に、研究内容を聞いたり、公開研究室を見学して工学のおもしろさを体験してください。

日 時	平成18年7月30日(日) 10時～15時30分
会 場	長岡技術科学大学
交 通	長岡駅よりバス30分・無料送迎バスあり
内 容	工学分野の説明、進路相談、学生生活相談、履修相談、公開研究室見学、模擬講義

お問い合わせ 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
長岡技術科学大学 入試課入学試験第2係
Tel:0258-47-9258 Fax:0258-47-9070
E-mail:nkoho@jcom.nagaokaut.ac.jp
URL:<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/nyuushi/opencampus.html>



〈上〉〈下〉昨年度のオープンキャンパスの様子



父 母 懇 談 会

学部学生のご父母の皆様には先にご案内したように、下記のとおり「平成18年度父母懇談会」を開催いたします。これは、前年度に引き続き実施するものです。

懇談会では、本学の近況報告、個別面談、模擬講義等を行うとともに、父母の方々のご意見、ご要望をお聞きし、本学に対する理解を更に深めていただくこととしています。

また、同日は高校生、高専生などを対象とした「オープンキャンパス」も開催中です。活気あるキャンパスにぜひご来学ください。



昨年度の父母懇談会の様子

日 時	平成18年7月30日(日) 11時～16時45分
会 場	長岡技術科学大学 講義棟

※シリーズ「にいがたみてある記」は今号はお休みします。

編集後記

今号は、学びの空間・憩いの時間—キャンパスは進化する—と題して特集を組んでみました。一昔前の大学の施設といえば、古びた校舎に無味乾燥なむき出しのコンクリート、というのが定番でしたが、最近では吹き抜けの明るい校舎におしゃれなカフェテリア、などという大学もよく聞きます。残念ながら本学は、まだそこまでの充実ぶりには至っていませんが、見かけより中身、ハード面だけでなくソフト面も大切、ということで、目立たないながらも継続的な改良と改善を続けております。(編集委員)



2006年10月1日
開学30周年を迎えます。

VOS134号(平成18年6月)
編集発行/長岡技術科学大学広報委員会(総務部 総務課)
*本誌に対するご意見等は下記までお寄せください。
〒940-2188 長岡市上富岡町1603-1
Tel.0258-47-9209 Fax.0258-47-9000
E-mail skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp
U R L : <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

VOSの由来

本学のモットーである,Vitality,Originality,Servicesの頭文字をとって,本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。